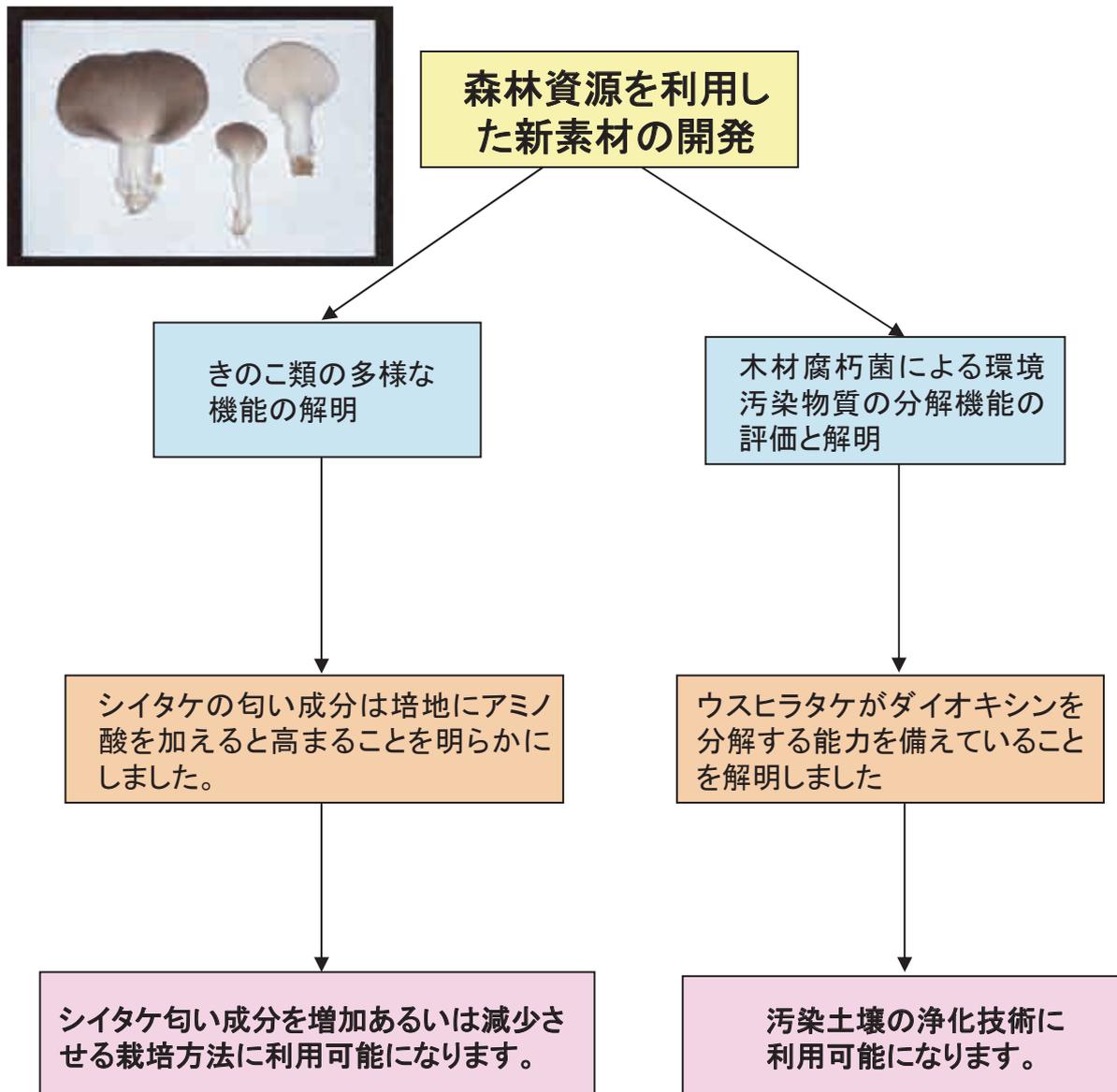


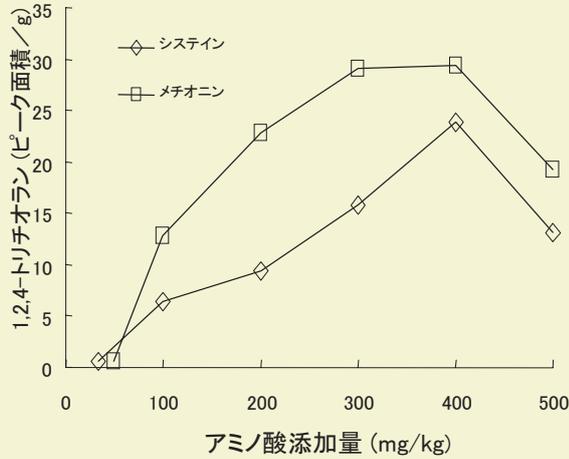
Ⅱ分野 生物機能の解明と新素材の開発に向けた研究 (エ) 森林生物機能の高度利用技術の開発

背景と目的

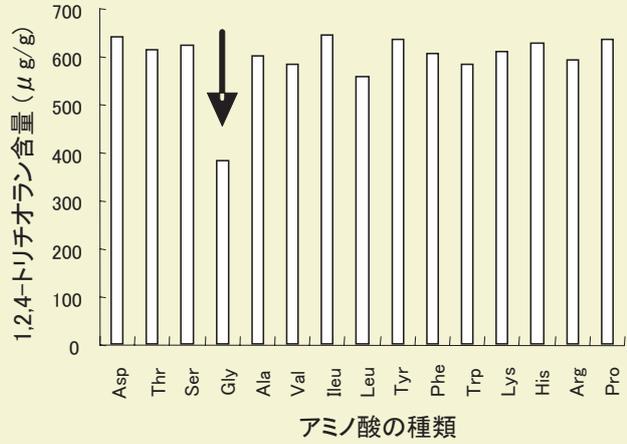
森林生物が有する多様な機能を解明し、それを利用して新素材を開発することが求められています。そのために森林資源を利用した機能性素材の開発、森林生物の機能を利用した環境保全・修復技術に向けた森林生物機能の高度利用技術の開発をめざしました。



シイタケ匂い成分の生成

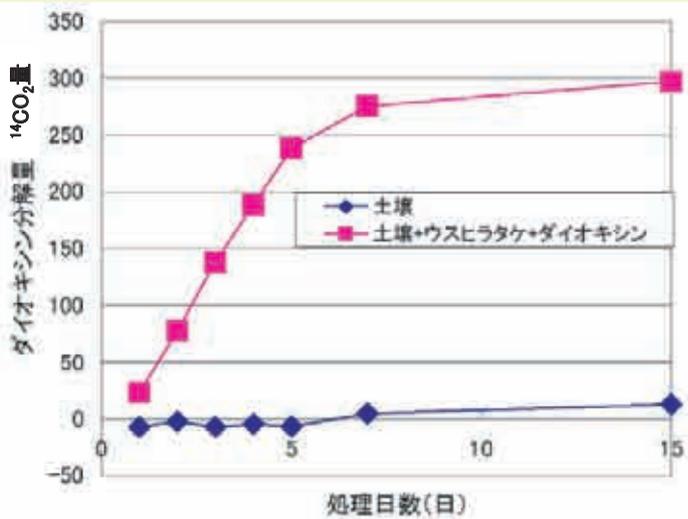


培地にメチオニン、またはシステインを添加すると匂い成分(1, 2, 4-トリチオラン)が増加しました。



培地にグリシンを添加すると匂い成分が減少します。

木材腐朽菌によるダイオキシンの分解



ウスヒラタケによるダイオキシンの分解

ダイオキシンが分解した証拠として、木材腐朽菌を入れた方は、二酸化炭素の生成が増加しました。

木材腐朽菌を入れない方は変化がなく分解されていないことがわかります。

ウスヒラタケがダイオキシンを分解する能力を備えていることを明らかにしました。